

とうせい おか
伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

たよう しゅたいせい かんよう ぎょういく
～多様な主体性を涵養する教育～

あさがお



園庭には、色とりどりの花が咲いて、爽やかな季節の到来です。新年度が始まり、始業式・入園式から1学期がスタートしました。毎日、色々なことに興味・関心をもって遊ぶ子どもたちの笑顔で溢れています。

～登園途中のエピソードを紹介します～

めずらしく園児の下のお子様泣いていました。お家の方に聴いてみると、「お兄ちゃんが手を引っ張ったので嫌だったみたいで。」とおっしゃいました。お家の方は、子どもの気持ちを分かっておられました。その後、お兄ちゃんに言葉を掛けておられました。「嫌だと言った時にはやめてあげてね。」と伝えておられました。

私は、この会話がとても大事だと思います。何気なくお家の方が人の気持ちを代弁して、相手の思いに気がつけるようにされているかわりです。何気ないように思えますが、実は非常に大事なかわりになります。私もこの姿を見て、見習おうと思いました。

入園・進級おめでとうございます

始業式では、4歳児、5歳児のお友だちが集まり、みんなで園歌を歌いました。新しいクラスに進級した子どもたちは、たくましい表情になりました。絵本や気持ちカードを使ってみんなで目標を確認しあいました。

みんなで目指す「めざす子ども像」です。名付けて「とうせい」大作戦です！

- ① ともだちと つながろうとする こども。
- ② うんどうを すすんでしようとする こども。
- ③ せいいっぱい ちょうせんしようとする こども。
- ④ いのちを たいせつに しようとする こども。



目指す姿を確認しあう(全園児)



新しい出会いを楽しむ



恒例の文字遊びを進める(5歳児)

子どもたちは、真剣に話を聴いて、自分の中で受け止め考えていました。また、新しく着任した先生や友だちを紹介して、挨拶を交わしました。

9日(火)は、第15回入園式でした。3歳児28人、4歳児1人、計29人が新しく桃青の丘幼稚園に入園し、合計80人の園児でスタートします。

5歳児が手づくりしたペンダントを新入園児に贈りました。5歳児のみなさんは、小さなお友だちと視線をあわせペンダントをかけながら「おめでとう。」と声掛けをしていました。優しくかかわる年長組さんはとても素敵でした。



新入園児の皆さん



園歌を披露する(5歳児)



笑顔の先生たち 一緒に頑張ろう!

幼児の主体的な「遊び」を中心に、生涯にわたる人間形成の基礎を培う教育を行う

幼稚園は、教育を受けながら友だちや教師と過ごす場所です。遊び、生活、食事、排泄と子どもたちにとって生活そのものといってもいいかもしれません。

その中で唯一、家庭では経験できないことが友だち関係です。今後、人間関係の基礎や土台となると言っても過言ではありません。友だちとの関係を通して学ぶことがたくさんあります。

整えられた教育環境の中で興味・関心をもって自主的に遊ぶ(3歳児)



春の自然に親しみをもつ



あいせんせいの「ほっこりタイム」設立2年目を迎えます♡

去年は、たくさんの保護者の方とお話をしました。いろいろな悩みや話を聴いて、仕事や育児で疲れたお家の方がほっこりできるひと時をつくりたいと思ったからです。本音で話せる「場」を園の一角に設けています。少しの時間になるかもしれませんが、ぜひご利用ください。

「あいせんせい、聴いて!」のお声掛けをお待ちしています。私からお声を掛けることもあります♡気持ちを合わせて1年進みましょう。私も楽しみです♡

実は、毎日、教育に携わり頑張っている大好きな先生たちにも「ほっこりタイム」を設立しました。心身ともに健康で子どもたちとかかわってほしいと思うからです。先生たちも聴いてほしいことがいっぱいあるのですよ!

あさがお:江戸時代から親しまれた花です。とりわけ朝顔はその色の種類、大きさの違いなど、変化に富んだ多様性において「多様な主体性の^{かんよう}涵養」の見える象徴的な花に相応しいのではと思います、この幼稚園だよりのタイトルにしました。

^{かんよう}涵養とは、自然にしみこむようにという意味です。無理なく自然にたくましく育てほしいという願いを込めています。

☆あさがおイラスト:あぶどうらさん

☆あさがおイラスト:あかりさん

(文責 松永 愛)